

# 令和2年度 社会福祉法人杉戸町社会福祉協議会 事業報告

令和3年3月31日現在

## 1 社協財源の確保と組織の強化

### (1) 会員の募集

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、開始時期を第2期(7月～)からとして、支部長(区長)、班長等の協力を得て各世帯に社協会員加入を呼びかけた。

会員種別	加入世帯数	会費実績額
一般会員	9,592 世帯	4,817,400 円
賛助会員	126 世帯	378,000 円
特別会員	33 世帯	330,000 円
合計	9,751 世帯	5,525,400 円

会員加入率: 50.5 %

### (2) 社協だより広告掲載

社協だよりに広告スペースを設け、企業等の広告掲載をした。

企業等広告掲載件数: A広告15件

### (3) 使用済み切手等の収集

使用済み切手や書き損じ・未使用はがき等を収集し、その益金を社協事業の財源とした。

切手整理ボランティアの活動により整理された使用済み切手を送付することにより、11,340円を得た。

### (4) 福祉バザー

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として障がい者週間記念事業が中止となり、青空市も中止となった。

### (5) 入れ歯リサイクル

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会(坂戸市)への事業協力として、不要入れ歯の回収ボックスを杉戸町役場とすぎとピアに設置した。

収益金: 33,897円

### (6) 自動販売機の設置【収益事業】

公共施設等に自動販売機を設置した。

設置場所: ①杉戸町役場②すぎとピア③エコ・スポいずみ④リバティールホール杉戸⑤環境センター⑥西近隣公園⑦倉松公園⑧さくら公園⑨国体記念運動広場⑩南グラウンド⑪南テニスコート⑫中央公民館⑬西公民館⑭南公民館⑮高野台駅東口⑯高野台駅西口⑰深輪健康公園⑱屏風フットサルパーク

## 2 啓発活動の促進

### (1) 社協だよりの発行

広報紙(すぎと社協だより)を年3回発行した。

号	発行日	発行部数	主な内容
第91号	令和2年7月1日	19,500部	令和2年度事業計画・予算、赤十字社員増強運動実施報告、令和元年度事業報告・決算
第92号	令和2年11月2日	19,500部	社協会員加入状況報告、夏のボランティア体験
第93号	令和3年2月1日	19,500部	共同募金、歳末たすけあい募金実績報告

点字サークル「杉」の協力により社協だより点訳版を作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

音訳ボランティア「あいうえお」の協力により社協だより音訳CDを作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

### (2) ホームページの活用

ホームページを開設し、社協事業の周知、報告等情報を発信した。

更新回数: 7回

アクセス回数: 2,037回(令和3年1月～3月末)

### (3) 啓発品の活用

社協の知名度向上や福祉意識啓発のためのポケットティッシュを作成し、イベントや講習会時に配布した。

### 3 地域福祉

#### (1) 支部社協活動の推進

##### ① 支部育成費助成

前年度会費実績の支部(43支部)に対し、会費実績額4%+均等割り3,000円を助成した。  
助成額:353,344円

##### ② 支部活動費助成

支部で行う地域福祉活動に対し100,000円を限度に助成した。  
支部数:3支部  
助成額:250,000円

#### (2) 友愛訪問

民生委員の協力により、一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者、認知症高齢者に対し、慰問を実施していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止とした。

#### (3) 一人暮らし高齢者ふれあい会食会

一人暮らし高齢者を対象に社会参加と仲間づくりのため、会食会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止(高齢者の高リスク)の観点から、中止とした。

#### (4) 長寿記念品

長寿夫婦(52組)に記念品(高級煎茶)を贈った。

#### (5) 障がい者週間記念事業

杉戸町、杉戸町障がい者協議会と共催により、障がい者への理解と共生社会を目指し、開催した。

実施日:11月27日(金)~29日(日)

場所:生涯学習センター カルスタすぎと

参加人数:約200人

内容:福祉団体等の活動紹介展示、Zoomを活用して他事業所とコミュニケーションの実施など

#### (6) 歳末たすけあい運動

一人暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者(児)、一人親家庭等に民生委員の協力により歳末援護金を贈った。

配分件数:107件

配分額:678,000円

#### (7) すぎとピアサロン

仲間づくりや交流の場として、誰もが気軽に参加できるサロンとしてすぎとピア内に開設する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染防止への考慮、また実施場所の他目的用途(館内の感染予防措置)により年間を通し開催できなかった。

#### (8) いきいきふれあいサロン支援

地域の高齢者等がいきいきと元気に暮らしていけるよう、地域のサロン活動に対し支援する。

サロン名:くらまつ・いきいきサロンあじさい(新型コロナウイルス感染症感染防止により年間中止)

#### (9) 彩の国あんしんセーフティネット事業

社会福祉法人椿寿会と協働して、利用可能な制度や支援機関への紹介を行うとともに、相談者が逼迫した状況にある場合は経済的援助(現物給付)を行うなど、即応的かつ継続的な支援を行った。また、生活困窮者の自立支援機関であるアスポート相談支援センター埼玉東部と連携し、生活困窮者の自立に向けて支援した。

相談件数:2件

支援件数:1件

#### (10) フードバンク事業

生活困窮者が逼迫した状況にある場合に、他事業や他機関による支援と合わせて経済的支援(現物給付)を行い、自立を支援した。

相談件数:23件

支援件数:22件

#### (11) フードパントリー事業

「すぎと居場所づくり応援隊」で実施したひとり親家庭を対象に食料等を無料で配布するフードパントリー事業に協力・支援した。配布数:5月32世帯、7月37世帯、9月36世帯、11月40世帯、1月71世帯、3月65世帯 計281世帯

#### (12) 見守りネットワーク

友愛訪問対象者を対象に防犯に関するチラシを配布し、安心・安全に暮らせるよう啓発しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。

#### 4 ボランティア活動の振興

##### (1) ボランティアセンター運営事業

町内で活動するボランティア団体や個人のボランティア活動を支援した。また活動を始めたい人の相談やボランティア保険の受付事務等を行った。

##### ① ボランティア登録者

区分	団体(人)数
団体(人)	24団体(880人)
個人	50人

##### ② ボランティアの需給調整

区分	単発	継続	合計
依頼(件)	49件	0件	49件
紹介(人)	111人	0人	111人

##### ③ ボランティア保険の受付

ボランティア保険加入者数:539人

##### (2) ボランティア体験事業

夏休み期間中に、様々なボランティア体験を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大下にあり、感染拡大予防のため受入れがかなわない施設等が続出した。

参加延べ人数:23人

##### ① 使用済み切手整理体験 実施日:7月26日(日) 参加人数:3人

寄附でいただいた使用済み切手の整理を行なった。使用済み切手の使途、リサイクル活動の啓発、自宅等で気軽にできる活動の1つであることなど、理解が深まった。

##### ② 高齢者施設ボランティア体験

高齢者施設で利用者との話し相手やレクリエーション補助を通じて交流と福祉の仕事の理解を深めた。

ア デイサービス東埼玉 実施日:7月28日～9月5日 参加人数:12人

##### ③ 障がい者に関するボランティア

ア 手話体験 実施日:8月22日(土) 参加人数:8人

##### ④ 体験メニューを用意したが参加が得られなかったメニュー

ア ボランティアスクール 実施予定日:7月11日(土)

イ 非常食炊出し体験 実施予定日:8月1日(土)

##### ⑤ 新型コロナウイルス感染症により受入・実施が見送られた体験・講座等

特養はなみずき、庄内、れんげそう作業所、デイケアかわせみ、ふれあいサマーコンサート、MG体操、点字体験、泉保育園、高野台保育園、すぎと保育園、高野台こどもの家保育園、杉戸みちのこ保育園、児童館事業、子育て支援センター(たんぼぼ・ひまわり)事業、ぽっぼはうす子育て支援事業、放課後児童クラブ(町内7カ所)、小中学校教員向け福祉教育担当者会議

##### (3) 福祉ボランティアパートナー制度

##### ① ボランティアパートナー団体

社協との協働という視点にたち、対等なパートナーとして活動する福祉ボランティア団体を募り、福祉ボランティア活動を推進し、福祉のまちづくりに活かした。令和2年度1団体加入した。

福祉ボランティアパートナー団体:

- ①介助ボランティアあじさいの会②点字サークル「杉」③音訳ボランティア「あいうえお」④杉戸要約筆記サークルつくし⑤杉戸手話サークル⑥杉戸すまいる⑦すぎとクイール⑧杉戸町福祉ボランティア連絡会⑨ふれ愛フレッシュ⑩あおイトマトの会⑪みみの会⑫がん患者会シャローム⑬子育てネットぽっぼはうす⑭NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑮すぎと居場所づくり応援隊(15団体)

##### ② ボランティアパートナー団体支援

ボランティアパートナー団体に対し、団体の自主事業に対する経費を助成した。

助成団体:①点字サークル「杉」②音訳ボランティア「あいうえお」③杉戸要約筆記サークル「つくし」④杉戸手話サークル⑥杉戸すまいる⑥ふれ愛フレッシュ⑦あおイトマトの会⑧みみの会⑨子育てネットぽっぼはうす⑩NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑪すぎと居場所づくり応援隊(11団体)

助成額:689,000円

#### (4) ボランティア講習会

##### ① 手話奉仕員養成講習会入門課程(全25回中18回)

聴覚障がい者の理解と手話技術習得を目指し、手話奉仕員を養成した。  
実施日:令和2年8月25日～12月22日、令和3年3月23日(毎週火曜日)  
場所:すぎとピア  
参加人数:8人

新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発令中は休止とした。

##### ② 要約筆記講習会

聴覚障がいへの理解と要約筆記基礎知識と技術の習得を目指し、要約筆記奉仕員を養成した。  
実施日:8月26日～10月28日(毎週水曜日)(全10回)  
場所:すぎとピア  
参加人数:5人

#### (5) 地域に密着したボランティア活動

##### おもちゃの病院

「おもちゃドクター養成講座」受講生のドクターが、ものを大切にする心の醸成、世代間交流を目的に、毎月第2土曜日におもちゃの病院を開院。修理を行った。

開院日:7回 ※緊急事態宣言発令中は休止とした。

診療件数:37個 うち完治31個(完治率83.7%)、修理不能6個

#### (6) ボランティアセンターだより

年3回ボランティアセンターだよりを発行し、ボランティア団体の活動紹介、各種講習会の情報提供、報告を行った。(7月、11月、2月発行)

#### (7) ボランティア情報紙

年6回奇数月に情報紙を発行し、団体・個人ボランティア並びに住民の皆様にボランティアに関する情報を提供した。

#### (8) いきいきふれあいまつり2020

開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況継続により中止とした。

#### (9) 災害ボランティアセンター

##### ① 災害時のボランティア活動を円滑に進めることを目的として、町内ボランティアとして活動する意欲ある個人又は団体を「杉戸町災害ボランティア」として登録した。

登録数:10団体(401人)・個人2人

##### ② 災害救援ボランティア講習会

開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況継続により中止とした。

##### ③ 災害ボランティア情報紙

災害ボランティア登録の団体・個人に対して、災害ボランティアに関する情報紙を年1回発行し、情報提供した。令和2年度は1月期ボランティア情報紙との合併号として発行した。

#### (10) プルタブ・ペットボトルキャップ回収運動

アルミ缶のプルタブやペットボトルキャップを回収し、車いすやワクチンを贈る運動に参加した。

・プルタブ 一斗缶5缶、段ボール8箱(約170kg)

・ペットボトルキャップ 回収開始時(平成26年4月より)累計個数2,321,655個 累計ワクチン2,644人分

#### (11) 物品の貸出し

テント、移動炊飯器、白杖、高齢者疑似体験セット、点字板、着ぐるみ等を各種団体に貸し出した。

### 5 福祉教育の推進

#### (1) 福祉協力校

##### ① 小・中学校

町内の小・中学校を福祉協力校に指定し、交付基準に基づき1校70,000円を限度として助成し、福祉教育を推進した。

指定校: ①西小学校②高野台小学校③杉戸小学校④第二小学校⑤第三小学校⑥泉小学校⑦杉戸中学校⑧広島中学校⑨東中学校(9校)

##### ② 保育園・幼稚園

保育園、幼稚園に対して、1園20,000円を助成し、祖父母への手紙の作成等を行った。

指定校: ①泉保育園②高野台保育園③すぎと保育園④高野台こどもの家保育園⑤西幼稚園⑥中央幼稚園⑦すぎと幼稚園(7園)

(2) 小・中学生福祉体験教室(再掲)

非常食炊き出し体験(小中学生親子体験) 実施日:8月1日(土)  
1組の参加であったが、前日身内の不幸があったと連絡があり欠席となった。

(3) 福祉教育の支援

① 福祉教育担当者会議(再掲)

新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言の発令による学校の夏季休業日の短縮により、日程の確保が困難となり休止した。

② 福祉ボランティア体験指導者派遣

小中学校の総合的な学習の時間において行われる福祉体験学習の場に、登録ボランティア団体や福祉団体を派遣し、当事者の声を届けたり、正しい支援の仕方・注意点等の喚起に努めた。

派遣団体:杉戸町聴覚障害者協会、杉戸手話サークル

体験内容	福祉全般	車いす	点字	手話	ガイドヘルプ	要約筆記	当事者講話	合計
件数	2	0	0	1	0	0	0	3件

③ 高齢を考えるワークショップ

高齢化が進む町の現状を踏まえ、地域に住む高齢者をワークシート上に可視化し、考える機会を作った。

体験人数:12月2日 東中学校2年 48人

(4) 福祉図書デリバリー事業

埼玉県社会福祉協議会の整備する福祉図書やユニバーサルデザイングッズを活用し、児童が図書を通じて福祉に触れ、身近な社会への関心を高めることを目的に、福祉図書等の貸出事業の周知を行ったが依頼はなかった。

(5) 福祉ポスター展

小学5年生を対象に、福祉に関するポスターを募り、すぎとピア館内に展示した。提出した児童には表彰状と参加賞(漢字練習帳)をお渡しした。また、作品は社協ホームページ上に掲載した。

実施日:10月17日~11月30日

出展数:5点

6 在宅福祉

(1) 訪問介護・障がい福祉サービス事業(すぎとピアホームヘルプサービスの運営)

① 訪問介護・杉戸町総合事業

介護保険法に基づき埼玉県・杉戸町指定事業所として生活援助・身体介護・杉戸町総合事業のサービスを提供した。

要介護区分:派遣時間 975時間00分、派遣回数 1,132回

要支援区分:派遣時間 578時間30分、派遣回数 729回

利用者数:34人(延 290人)

② 居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護

障害者総合支援法に基づき埼玉県指定事業所として居宅介護(家事援助・身体介護)及び重度訪問介護、同行援護のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業

派遣時間:580時間00分 派遣回数:659回

利用者数:8人(延82人)

イ 行動援護(利用者数 0人)

ウ 重度訪問介護(利用者数 0人)

エ 同行援護

派遣時間:321時間00分 派遣回数:125回

利用者数:3人(延36人)

③ ケアマネ&ヘルパー通信の発行

毎月1回、居宅介護支援事業所・訪問介護事業所利用者等に、健康づくりのための情報や脳トレ等を掲載した情報紙を発行した。

(2) 居宅介護支援事業(杉戸町社会福祉協議会居宅介護支援事業所の運営)

介護保険法に基づき指定居宅介護支援事業所としてケアマネジメント等のサービスを提供した。

要介護区分:利用者数 51人(延 462人)

要支援区分:利用者数 21人(延 198人)



(3) オープンギャラリー

すぎとピア利用団体の活動等で積み上げた成果や作品を展示しているが、利用団体の活動自粛により申込みはなかった。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした事業

①健康セミナー②映画上映会③まなびピア(芸人寺子屋)④野菜直売デー

8 相談活動事業

(1) 心配ごと相談所

家族の問題、暮らし、住まいの問題等心配ごとについて相談所を開設した。

相談利用者数:3人(男2人、女1人)

年間開設日数:6日(新型コロナウイルス感染症予防対策のため6日間中止となった)

(相談事項及び件数)

相談事項	件数	相談事項	件数
生計	0	財産	0
年金	0	事故	0
職業・生業	0	児童福祉	0
住宅	0	教育・青少年	0
家族	0	身障者福祉	0
結婚	0	母子福祉	0
離婚	0	老人福祉	0
健康・精神・衛生	0	苦情	0
医療	0	その他	2
精神衛生	0		
人権・法律	0	合計	2

9 貸付事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業

相談件数: 1件

貸付件数: 0件

貸付額:0円

① 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯の生活意欲の助長及び社会参加の促進を図り、経済的な自立を支援をするために生活福祉資金の貸付相談窓口を開設した。

② 臨時特例つなぎ資金

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けする相談窓口を開設した。

③ 特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお困りの方に対し、当面の生活費に関する需要への対応として、緊急小口資金等の貸付相談や必要な支援をした。

特例総合支援資金貸付件数:191件 貸付額:146,760,000円

特例緊急小口資金貸付件数:258件 貸付額:48,200,000円

(2) 福祉資金貸付事業

低所得世帯の方が臨時の出費、または収入欠如等のために生活が脅かされ、またその恐れがある場合に、その応急的需要を満たし、生活の安定と経済的自立の助長を支援するために資金の貸付をした。

貸付件数:34件

貸付額:938,000円

10 その他の福祉活動

(1) 福祉団体の育成・支援

福祉活動を行う団体に、その活動費を助成し、地域づくりの担い手として育成、支援した。

① 杉戸町老人クラブ連合会

杉戸町老人クラブ連合会の実施する各種事業への協力・支援をした。

② 杉戸町福祉ボランティア連絡会

杉戸町福祉ボランティア連絡会の実施する各種事業への協力・支援をした。

連絡会主催の「いきいきふれあいまつり2020」とボランティア交流会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、緊急事態宣言の発令により休止となった。

③ 福祉活動助成金

助成団体:①杉戸町老人クラブ連合会②杉戸町遺族会③杉戸町赤十字奉仕団④杉戸町民生委員児童委員協議会⑤幸手地区視力障害者協会⑥杉戸町福祉ボランティア連絡会⑦杉戸町身体障がい者福祉会(7団体)

助成額総額:570,000円

(2) 行旅者旅費の支給

交通費に困窮する者に対し、旅費を支給した。

(3) 日本赤十字社杉戸町分区

① 日赤会員募集

実施期間:7月～(新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け開始時期を遅らせた。)

実績額:2,215,068円 会員数:791人

(内訳)

種別	実績額	内容
一般募金・会員	2,185,068円	各区行政区の協力により戸別募金を行った。また赤十字奉仕団による会員募集を行った。
特別会員	30,000円	特別会員(1万円以上)の募集を行った。

② 被災者援護

火災:0件

③ 義援金・救援金

杉戸町役場及びびすぎとピア等公共施設に募金箱を設置、義援金を募集し、日本赤十字社を通じ被災地に送った。

・東日本大震災義援金 ※受付終了

実績額:7,716円 (総額 7,266,388円)

・令和元年台風第19号災害義援金 ※受付終了

実績額:17,784円 (総額164,909円)

・令和2年7月豪雨災害義援金

実績額:22,983円

(4) 埼玉県共同募金会杉戸町支会

① 赤い羽根共同募金運動

実施期間:10月～3月

実績額: 3,581,912円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	3,139,494円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
街頭募金	0円	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。
学校募金	121,970円	町内各小・中学校、高等学校で募金を行った。
職域募金	313,970円	杉戸町役場、社協、福祉関連施設や公共機関等からの募金を行った。
個人大口募金	1,025円	個人より共同募金に協力をいただいた。
法人募金	5,453円	地域貢献型自動販売機設置企業からの収益の協力をいただいた。

② 歳末たすけあい運動

実施期間:10月～3月

実績額: 1,650,673円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	1,598,651円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
大口・団体募金	52,022円	各種団体、企業、個人による大口・団体募金を行った。

※事業報告附属明細は省略。